

22 空 手 道

大会名称 令和7年度宮崎県高等学校新人総合体育大会 第50回空手道競技大会 兼 第45回全九州空手道新人大会九州南ブロック大会予選 兼 第45回全国高等学校空手道選抜大会予選

主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会

後援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・一般社団法人宮崎県空手道連盟

主管 宮崎県高等学校体育連盟空手道専門部

1 期 日 令和7年10月31日(金)～11月1日(土)

会場設営 10月31日(金) 9:30～

計量 10月31日(金) 9:30～11:30

監督会議 10月31日(金) 12:30～13:30

開会式 10月31日(金) 14:00～14:30

公式練習 10月31日(金) 14:30～16:00

審判監督会議 11月1日(土) 8:30～

競技開始 11月1日(土) 9:30～

閉会式 11月1日(土) 18:00～

2 会 場 ひなた武道館主道場

宮崎市大字熊野2206-1 電話 0985-58-5151

3 競技規則 全日本空手道連盟競技規則(JKFルール)ならびに宮崎県高等学校空手道競技規則を適用

4 競技種目 (1) 男子団体組手 (2) 男子個人組手 (3) 男子団体形 (4) 男子個人形
(5) 女子団体組手 (6) 女子個人組手 (7) 女子団体形 (8) 女子個人形

【諸注意】

① (1)(5)の団体組手種目に出場する学校は参加申込書に、5人制または3人制のどちらか一つを選択し、該当する種目に☑を付けること。

② (2)(6)の個人組手種目に出場する学校は参加申込書に、選手の出場階級を記号で階級欄に記入すること。

5 競技方法

【組手競技】

(1) 個人組手

① トーナメント戦において順位を決定する。

② トーナメント戦において、原則、初戦において同一校が対戦することがないように、十分な配慮をおこなう。

③ 体重制を導入する。階級を男子は-55kg級、-61kg級、-68kg級、-76kg級、+76kg級の5階級、女子は-48kg級、-53kg級、-59kg級、-66kg級、+66kg級の5階級とし、計量をおこない、階級ごとに決められた体重でない選手は棄権となる。(例:男子64キロの選手は、-68kg級しか出場できない)

④ 各階級において3名以下のエントリーの場合は、リーグ戦とする。

⑤ 不出場の選手は上位大会への出場権を得ることができず、本大会においても順位が付かない。

(2) 団体組手

① 団体組手の参加校数による競技方法については、宮崎県高体連空手道専門部 協議決定事項に基づく。(宮崎県高体連 HP 空手道競技参照)

(3) 個人組手および団体組手の共通事項

- ① 組手競技の勝敗は、8ポイント差が生じた場合、または競技時間（2分）終了の際に得点の多い競技者、または先取および判定により、または相手に反則、失格、棄権が科せられることによりきめられる。
- ② 3位決定戦をおこなわない。

【形競技】

- (1) 競技方法については、宮崎県高体連空手道専門部 協議決定事項に基づく。（宮崎県高体連 HP 空手道競技参照）

6 計量

- (1) 階級については下記の表のとおり

男子個人組手		女子個人組手	
－55kg級	56.0kg未満	－48kg級	49.0kg未満
－61kg級	55.0kg以上62.0kg未満	－53kg級	48.0kg以上54.0kg未満
－68kg級	61.0kg以上69.0kg未満	－59kg級	53.0kg以上60.0kg未満
－76kg級	68.0kg以上77.0kg未満	－66kg級	59.0kg以上67.0kg未満
＋76kg級	76.0kg以上	＋66kg級	66.0kg以上

- (2) 男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。
- (3) 計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）もしくは学校の体育服（短パン）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。計測値から0.5kgを引く。
- (4) 規定の時間内に計量を受けていない、または参加申込書の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場権を失う。体重区分に適していないとは規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に適していない場合も含む。
- (5) 計量は、大会役員がおこなう。

7 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
ただし、外部指導者について各競技専門部における規定が定められ、監督・コーチが上記の基準により限定された範囲内であれば、その規程に従うことを原則とする。

8 参加資格

- (1) 宮崎県高等学校体育連盟加盟校の在籍生徒で、公益財団法人全日本空手連盟登録者であること。
- (2) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制の課程と定時制の課程の生徒の混成は認めない。
- (4) 参加する生徒はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の参加申込書を必要とする。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加は認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればこの限りではない。

(7) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒として品位を保てない場合等には出場を取り消すことができる。

9 参加制限

(組手競技)

- (1) 団体競技は男女共各校1チームとし、5人制のチーム編成は監督1名、選手8名とし、3人制のチーム編成は監督1名、選手4名とする。
- (2) 個人競技は男子1校4名、女子1校4名まで出場できる。
- (3) 団体競技における外国人留学生の参加については、正選手の過半数を越えない範囲で出場を認める。個人競技における制限は無い。

(形競技)

- (1) 団体競技は男女共各校1チームとし、チーム編成は監督1名、選手6名とする。(男女共3人制)
- (2) 個人競技は男子1校2名、女子1校2名まで出場できる。
- (3) 個人競技の補欠選手は男女共1名とし、申込書に明記されたものでなければ交替できない。
- (4) 団体競技における外国人留学生の参加については、正選手の過半数を越えない範囲で出場を認める。個人競技における制限は無い。

(マネージャー)

男女に各1名を認める。

10 表彰 競技種目毎に、団体・個人ともに3位まで表彰する。

11 申し込み

- (1) 所定の参加申込書(公印不要)を電子メールに添付して送信すること。

送信先E-MAIL: turbo9302002@yahoo.co.jp

①ファイル名は「R7 新人大会申込 ○○高校」とする

②公印が押印されている参加申込書の原本(公印あり)は、大会終了まで申込者(部顧問)が責任をもって保管しておくこと。

- (2) 参加申込書の記入に当たっては次のことに注意すること。

① 「監督」「コーチ」欄の「学校職員・外部指導者」のいずれかを○で囲むこと。

② 「監督」「コーチ」欄に記入する外部指導者は、常時部活動の場で指導し、各種大会に引率責任者とともにチームに同行する、学校長が認めた者のことである。

③ 「学校番号」は各校配布の高体連要覧に記載されている番号を記入すること。

④ 「参加申込書」の生徒の生年月日の生年は、アルファベットの元号と数字を用いて記入すること。(例:平成19年→H19と記入)

⑤ 個人組手の階級欄には、該当するアルファベットを入力すること。

- (3) 申し込み締切を、令和7年9月12日(金)17時必着とする。締切後の参加申込は受け付けない。

12 参加料

(1) 1人400円とする。

(2) 徴収方法は、各学校の指示に従うこと。

(3) 参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。

13 資格取得

- (1) 九州南ブロック出場権資格について

① 県大会において各種目上位入賞者、入賞校は、令和7年12月19日(金)～21日(日)長崎県で行われる第45回全九州新人大会空手道競技大会九州南ブロック大会の出場権を得

る。

- ② 組手競技に関しては、本大会（県新人大会）で出場した団体組手の人数制および、体重の階級で南ブロック大会および全九州大会に出場することとなる。途中での人数制および階級の変更は認められない。

(2) 全国高等学校空手道選抜大会出場権資格について

- ① 九州南ブロック大会における上位入賞者、入賞校は、令和8年3月24日(火)～26日(木)に長野県で行われる第45回全国高等学校空手道選抜大会への出場権を得る。
- ② 全国選抜大会出場者、出場校の規定については、九州高体連空手道専門部の規定によるものとする。
- ③ 組手競技に関しては、本大会（県新人大会）で出場した団体組手の人数制および、体重の階級で全国選抜大会に出場することとなる。途中での人数制および階級の変更は認められない。

14 組み合わせ・抽選 監督会議にて行う。

15 連絡事項

- (1) 公式プロテクトは、採用しない。
- (2) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主管者側で行うが、その後は日本スポーツ振興センター災害共済給付制度を適用する。
- (3) 負傷防止のため、正拳サポーター（赤青）・ボディープロテクター・金的サポーター（男子のみ）・ニューメンホー（Ⅵ、Ⅶのみ使用可）・シンガード・インステップガードを着用すること。
- (4) 選手が着用する赤帯・青帯および安全具等は各自で準備すること。
- (5) 不明な点は専門委員長 村上貴志（妻高校 TEL0983-43-0005）に連絡のこと。

※ 高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。